

## 横浜市大同窓会 2021年度事業報告書

(2021年4月1日～2022年3月31日)

横浜市大同窓会(YCU REUNION)は、会則に則り ①同窓会交流促進 ②市大との連携・支援 ③地域・SDGsへの貢献の3本柱で事業を進めています。横浜市大100周年(2028年)に向け会員どうし、大学、学生等との連携を大切にしつつ実践を進めています。

### ■1. 市大同窓会交流促進

#### □1-1 YCU REUNION SDGsシンポ2022

”女性起業のヒントを探る！～女性起業・創業の拡大に向けて～”

○日時:2022年3月12日

○会場:横浜市大みなとみらいサテライトキャンパスにおいて、市大職員のご協力のもとハイブリッド型(会場とオンライン)で行いました。

○内容:SDGs目標5「ジェンダー平等を実現しよう」を基礎テーマとし、学生起業家や20歳～60歳代の卒業生に起業や創業の経験談を聴くことにより、起業を考える現役生または卒業生の参考になるようにという思いで開催しました。会場には在生も参加し、起業について考える貴重な機会になりました。

○キーノートスピーチ・コーディネーター:井手美由樹氏((株)Ideal Works 代表取締役、中小企業診断士)に、起業している男女比や、近年は起業がしやすくなっていること、女性が起業を考えるときのヒントやアドバイスをいただきました。

○パネルディスカッション:起業や創業の経験のある横市大卒業生5人の自己紹介・事業紹介のあと、ご自身の経験(厳しい状況のなかで仕事をつづけていることなど)を語り、今では経営を持続成長させていること、また地域との繋がりがあってこそその2番目、3番目の創業のお話、そして、出産・子育てをしながら会社経営を続けていくには思いがけない危機が訪れることもあるというお話などがありました。貴重な意見としては「女性に寄り添った制度を整備してほしい」という意見がありました。

大学(卒業生担当)からご紹介いただいた男性の起業家(30歳代)の方は子どもを膝にのせてのオンライン参加で現代の生活の仕方を垣間見ることができました。





## □1-2 定期的なオンラインセミナー開催

○日時:2021年2月より開催 月1~2回程度 火曜日 20時~21時30分

○内容:SDGs目標をテーマに、実践活動をしている市大教師、NPO団体、横浜市職員の方などが講師となるセミナーを開催しました。オンラインの特性を活かして、広域から幅広い年齢の方にご参加いただきました。2021年度開催は表のとおりです。

6 回目	4月 「アフリカの貧困と SDGs」 神奈川県ユニセフ協会学習ボランティア花木陽子さん
7	4月 「アフリカのジェンダー問題」 同 上
8	5月 「ジェンダー基礎講座～価値観の対立・ゆらぎ・多様性」 横市大 佐藤響子教授
9	5月 「ジェンダー 世代を超えてディスカッション」 同 上
10	6月 「天災・人災としてのパンデミック下のジェンダー」 川根 友さん (インド在住)
11	6月 「ケアを与える立場・受ける立場からの考察」 同 上
12	7月 「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」 NPO 法人ソフトエネルギーPJ 佐藤一子さん
13	7月 「私の歩んだ道」 猿渡紀代子さん (同窓生 大佛次郎記念館・特任研究員)
14	8月 「SDGsにつながるサステナブルシーフード」 浅野智恵美さん (TE H s 支援として)
15	9月 「学生の起業“企業の廃棄を削減し、循環型社会を実現する”」 (株) Stock Base
16	9月 「“半農半エネ+X”への道とソーラーシェアリング」 重家雅文さん (同窓生)
17	10月 「SDGsにつながるプロボノ・チェロ演奏活動」 ヌビアさん
18	11月 「循環型社会とサーキュラーエコノミー市民意識・生活の変化から」 関口昌幸さん
19	11月 「セーリングヨットで世界一周」 須藤尊史さん (同窓生)
20	12月 「被爆者は私たちに何を訴えているのか～平和とは何か～」 RECNA 林田光弘さん
21	1月 「人権の尊重なくしてSDGsの達成なし」 齊田裕史さん (同窓生)
22	2月 「南極からちきゅうを観る～探験(たんげん)の海図から～」 永延幹男さん (自然哲学)
3月 YCU REUNION SDGs シンポ 2022 「女性起業のヒントを探る！～女性起業・創業の拡大に向けて～」 今後の支援について横浜市男女共同参画や、IDEC 横浜、地元企業に協力を依頼。	

これらの活動をとおして同窓生の連携が広がり、また、市大との連携の重要性が増している。



学生起業の(株)StockBase 関さん、菊原さん応援！



広島県でソーラーシェアリングの実践



アフリカの貧困、ジェンダー問題



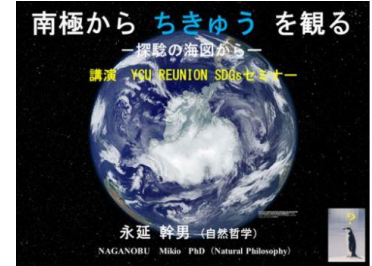
サーキュラーエコノミーと地域のSDGs活動について



プロボノ活動がSDGs 貢献に



「人権遵守」なくしてSDGs 達成なし  
(ハイブリッド型で試行)



自然哲学の観点から課題に挑む

セミナーはどれも大切なメッセージを含んでおり、毎回学びの多いものです。アーカイブはホームページで見ることができますので多くの皆さまに見ていただきたいと思います。

### □1-3 オンラインミーティング

○日時:原則オンラインセミナー終了後の開催(60分程度)

○内容:事業の推進に向けた情報共有、推進のための提案とディスカッション等を行いました。

## ■2. 大学・学生との連携・支援

### □2-1 キャンパス内交流拠点の運営

○八景キャンパス内にある同窓会と大学との連携スペースを、月8回程度大学のゲストwifiを使用し、同窓生への情報発信、大学・学生との連携に活用しました。



## □2-2 学生のSDGs活動との連携・支援

○“YCU REUNION SDGsシンポ 2022”において、SDGs目標5「ジェンダー平等を実現しよう」を基礎テーマとし、“女性起業のヒントを探る！～女性起業・創業の拡大に向けて～”を実施しました。パネリストには起業した学生、また会場には企業を考えている学生たちが参加しました。

○TEHsとの連携:

TEHsが取り組んでいる「サステナブル・シーフード」に関するセミナーを行いました。「SDGsにつながるサステナブル・シーフード」浅野智恵美さん:環境カウンセラーで、消費生活アドバイザー  
日本では認証制度に対し、慎重論が多い中、世界のニーズや状況の変化などについてエビデンスを基に語っていただき、学生たちの背中を押す内容となりました。

○環境ボランティアStepUp↑との連携:

野島海浜での清掃活動に参加していただきました。

○La Fraiseとの連携:

ルワンダで活動している団体(キセキ)を紹介したり、La Fraiseイベントの広報の協力、また布ナプキンづくりに参加しました。この写真のうちの一人が卒業後当団体に滞在してさまざまなことを経験し、感動し、学んでいます。



## □2-3 大学との連携・支援

○佐藤響子先生の総合講座にオンライン参加させていただき、「ジェンダー平等」だけでなく人の多様性についてもゲスト講師の皆さまから学ぶことができました。

○佐藤響子先生より依頼のあった同窓生50歳代の女性へのインタビューに協力しました。

○大学と連携してオンラインを活用した、“YCU REUNION SDGsシンポ2022”を開催しました。

○大学「卒業生担当者」との情報共有(facebook)を行っています。



○横浜うみ博2022(8月6～7日)に、横市大大関ゼミやTHEsと協力して参加することが決定しました。同窓生ボランティアを呼びかけます。

### ■3. 地域・SDGsへの貢献

#### □3-1 市民団体との連携

ONPO法人海をつくる会が実施する、野島海浜の清掃活動に同窓会員が参加して、プラスチックをはじめとする海岸のゴミの収集を行っています。(毎月第3土曜日)



環境ボランティアStepUp↑も参加



同窓生のご子どもさんも参加2回目

○Sera Creations主催のイベントに協力しました。

- ・7月24日「水のジャーナリストが語る！」@ナビオス横浜
- ・10月23日「港、横浜から私たちが SDGs して行こう！」@ナビオス横浜
- ・2月12日 「海」（海に浮いたプラごみを回収する機械の紹介）@ナビオス横浜 ほか

○ONPO法人子ども大学よこはまの授業に参加。オンラインセミナー講師(永延幹夫さん)の紹介をしていただきました。

○関内まちづくり協議会のイベントに参加し、川をきれいにするための取り組みや、プラごみの問題について学び、今後の活動の参考にしました。



#### □3-2 広報

○“YCU REUNION SDGsシンポ2022”の予告記事。カナロコ(神奈川新聞Web版)3月10日

#metoo #youtoo

#### 女性起業のヒント探る 横浜市立大同窓会が12日シンポ

ジェンダー平等 シンポジウム SDGs 女性活躍 働き方改革 metoo

社会 | 神奈川新聞 | 2022年3月10日(木) 20:43

国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)のターゲットの一つ、ジェンダー平等への足掛かりを探るシンポジウムが12日、開かれる。SDGs達成に向けた活動を展開する横浜市立大学同窓会(金子延康会長)の主催で、オンラインでの参加を募集している。

me too you too

二部構成のシンポは、女性の起業や創業の拡大がテーマ。第1部は、経営コンサルティング業務などを手がける「Ideal Works」代表取締役で、起業を多く支援してきた井手美由樹さんが講演する。

第2部は、バネルディスカッションを実施。小さな子ども連れでもゆっくりとした時間を堪能できるカフェと美容室を併設する「yururi salon x HanaUta café」代表の飯田峰子さんから、同大卒業後に起業した女性らがパネリストとして参加し、自身の経験を交えて議論する。

参加無料。時間は午前10時～正午で、ビデオ会議システム「Zoom(ズーム)」で開催する。ZoomのURLは、<https://us02web.zoom.us/j/83051395520?pwd=TjR3ajBjRWVWYVpSTFmclUojchVndz09>、パスワードは018571。

詳細は、同大同窓会「一般社団法人連交会」のホームページ。

## ■4. その他

### □4-1 横浜市大同窓会2021の開催

- 10月30日(土)コロナ禍で大幅に遅れていた総会をオンライン併用で開催しました。
- 市大100周年に向けた、大学との連携強化、大学・地域と連携したSDGsの推進、同窓会が活動できる体制、事務局機能の充実、推進などについて共有しました。



総会の動画をホームページにアップしました。

### □4-2 会員間の情報共有と交流・連携

#### ○広報による交流・連携

SNS(facebook)「横浜市大同窓会・公開グループ」の運営により、同窓会や大学の活動内容を紹介し、同窓生の交流に繋がりました。

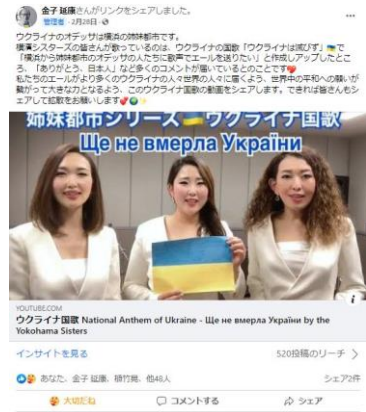
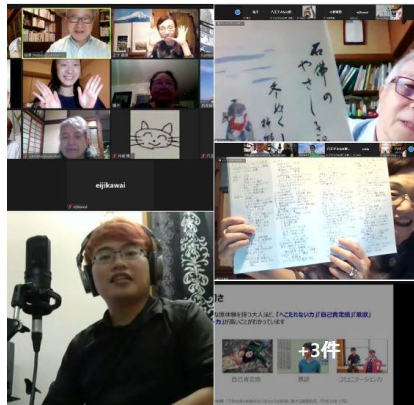
メンバー現在約850人(昨年総会時700人)参加者拡大中

最近の1か月の閲覧6,785件(昨年10月頃5,818件)、投稿・コメント151人(同127人)、「いいね」のリアクション1,438人(同825件)





【10月YCU REUNION SDGsオンラインセミナーのご報告】  
 10月12日（火）20:00～21:30  
 講師：ヌビアさん（チェロ奏者・作詞家・作曲家）須田史真氏  
 タイトル：「SDGsにつながるプロ・ポリス・チエロ演奏活動」  
 「スペシャルレクチャー」もっちゃん



### □4-3 事務局機能の強化

○八景キャンパス内連携スペースを事務局拠点として活用しました。

## 《その後の活動概要報告(2022年4月～5月)》

### ■1. 市大同窓生の交流促進

#### □YCU REUNION SDGs オンラインセミナーの開催

4月26日：伊藤泉美さん「横浜中華街の軌跡」

5月14日：田辺一邑さん「ようこそ講談の世界へ」

6月28日：松本卓也さん、服部諒さん「現役生と卒業生が目指す豊かさの指標とは～福島県田村市での実践～」

7月12日：永岑三千輝先生(横浜市立大学名誉教授)

「アウシュビッツへの道と、ロシアのウクライナ侵攻(仮)」

未定：野口理佐子さん(C.W.ニコル・アフアの森専務)「未定」

未定：小島芳実さん(同窓生 実業家、絵本作家、北海道大沼ナショナルトラスト運動ほか)「未定」

未定：同窓生 Sさんのセミナーを予定しています。

未定：同窓生 Iさんのセミナーを予定しています。

#### □ミニ同窓会@金沢八景キャンパスと、facebook(公開G)で知り合った先輩を訪ねる後輩卒業生



卒業後 50 周年の弓道部同窓生が八景キャンパスに。在学生に案内された部室では当時の部報創刊号が見つかりました！



約10歳違いの同窓生が愛媛で初対面！  
お遍路さんを受け入れた在住の先輩。



昭和48年入学の英語クラス8人が八景キャンパスを訪問。キャンパスツアーを行いました！

## ■2. 大学・学生との連携・支援

### ○TEHs(テフズ)との連携

5月、サスシー(サステナブル・シーフード)の学食導入みごと達成しました。サスシーの学食導入は日本の大学初ということで多くのメディアに取り上げられています。(TVK、神奈川新聞、日本TV…)



## ■3. 地域・SDGsへの貢献—地域との連携—

○SDGsの推進:実践活動としては海岸清掃を継続しています。

オンラインセミナーは多くの方が気軽に参加できるSDGs活動です。様々な情報と他者の意見を聴くことによって、参加者一人ひとりの認識が新たになり、持続可能な社会づくりに向かう姿勢に変わっ

ていると思います。また、facebookで得た情報で行動を変えている方もおられます。

【例】

- ・野島海浜の清掃活動参加のため新宿から八景まで来られた方がいます。
- ・実家が近いのと、野島海浜の清掃活動参加された方がいます。
- ・オンラインセミナー参加の方は居住地での活動の幅を広げた方がいます。
- ・これから地域活動を始めようとする方がいます。

【市民団体との連携】

NPO法人海をつくる会と、NPO法人こども大学よこはま、SeraCreations(環境をテーマに活動している団体)との連携・協力に加えて、関内まちづくり協議会、神奈川県ユニセフ協会とも連携しています。

## ■4. 広報の強化

### □4-1 進交会報88号の発行

進交会報87号では、Y校版と横浜市大版、初の分冊を試行。分冊に関するアンケート調査(Y校版・横市大版)では、約8割以上の方が分冊に賛同。理由は「読みやすい」「分かりやすい」「親しみがある」などがあり、また今後の希望として「文字を大きく」「写真を大きく」「研究に関することも載せて」などがありました。引き続き88号も分冊と決定。さらに皆さまの声を反映した紙面づくりをしていきます。



### □4-2 ホームページ「横市大同窓会」

○「市大同窓会について」のページ

- ・会則 ・執行体制 ・総会 ・事業報告書 ・決算報告書 ・総会のご案内 ・連絡先ご連絡のお願い
- ・会費納入のお願い ・学長メッセージ ・連携スペース ・SDGs実践活動ほか



#### ホームページへのアクセス状況

	「進交会」全体へのPV	「横浜市大同窓会」のPV	「最近の活動」のPV
2022.1月	1,667	188	122
2022.5月	2,118	212	198

#### □4-3 SNS:facebook「横浜市大同窓会(公開G)」

事務局からは、同窓会や協力団体のイベントのご案内・参加呼びかけ、終了後の報告などを行っています。また、市大卒業生担当者さんの投稿をシェアさせていただき、同窓生の皆さんからのリアクションを多くいただいています。参加の皆さまの昔を懐かしむ写真とコメント、最近の話題、自己紹介なども投稿され、投稿者と読者の双方向のやりとりが同窓会らしい数々の場面を作っています。

#### □4-4 神奈川新聞Web版「カナロコ」に横浜市大同窓会についても記事あり

学生団体THEsによるサスシー(サステナブル・シーフード)の学食導入後のニュース記事

「横浜市立大学のSDGsの取り組みが次々と具体化している。金沢八景キャンパス(同市金沢区)では生協食堂(横浜市立大学生協)でのサステナブル・シーフード(持続可能な水産物、サスシー)を使ったメニュー提供が今月9日から始まったほか、食品ロス削減やジェンダー平等など、学内外で多角的に活動を展開中。そこで鍵となるのは「連携」と「継続」。学生、大学の活動に加え、OB・OGと手を携えているのも特徴的だ。現状を知りたいと同キャンパスを訪ねた。」の後、学生の感想や、大学の取り組みなどについて記載あり。その後に次の文章がありました。

##### OB・OGとも連携

また、企画財務課によると、病院も含めた全職員を対象に、SDGsへの理解を深めながら具体的な行動に結びつけてもらおうと研修を実施。一方で、女子学生の心理的・経済的負担軽減を目的に、4月から4キャンパスで独自に生理用品の提供も開始した。学外でも、大学の持つ多様な資源を市民や地域に還元する「エクステンション講座」などを開催している。

さらに、同大同窓会とも連携し、OB・OGを通じたSDGs推進を図っている。同窓会では昨年、シンポジウムをオンラインで開催。海や食をテーマにした実践活動を紹介したほか、同窓会の活動やネットワークを生かした連携のあり方なども模索した。

井上さんと松下さんは「(サスシーは)継続性が大切。認知度を上げたいし、後輩たちにも思いを引き継ぎたい」とし、「新メニューの考案など学内の他団体と連携したいし、ノウハウ提供などで他大学にも導入を働きかけたい」と、今後に向けて意欲的だ。

カナロコ2022.5.28 <https://www.kanaloco.jp/pr/article-913271.html>